

学校だより

緑風

〈いよくふう〉

校訓 継続は力なり

## 鴻巣市立吹上中学校

学校だより「緑風」は、毎月本校HPに掲載しています。

本校HP <https://fukiage-j-konosu.edumap.jp/>

令和6年7月2日(火) 第4号

## 環境が人を作る

校長 二瓶 亮

梅雨特有の蒸し暑さが続く中、7月に入りました。吹中生は1学期の終わりに向けてやり残しが無いよう、授業に部活動にとそれぞれ頑張っています。

さて、7月3日(水)より埼玉県にゆかりの深い渋沢栄一翁の肖像が描かれた新1万円札が流通します。ご存じでしたか？自分の手元にはいつやってくるのか、今から楽しみです。渋沢翁といえば、「近代日本の資本主義の父」と呼ばれ、日本初の銀行や世界遺産に登録された富岡製糸場の設立にも関わり、銀行を起点に様々な企業を立ち上げて日本の近代化を進めたことで有名です。渋沢翁は政府の欧州視察の随員に抜擢されてフランス・パリを訪れ、その地で経済の仕組みや資本主義の考え方を学ぶ機会を得て、それまでの日本にはなかった経済についての考え方や会社経営のあり方などを学び、吸収して日本に持ち帰って、形にしました。

これらの功績が認められて、今回の新1万円札の顔となるわけですが、私が注目したいのは、渋沢翁が新しいことを求めて行動し、異文化に触れながらその考え方や感覚を吸収して形に変えたところです。渋沢翁には遠く及びませんが、私も自分の置かれた環境を変えたい、異文化から学びたいと思い、日本人学校での仕事に志願し、3年間英国へ行く機会を得ました。当然ですが、生活環境はガラリと変わりました。生活習慣も英国にあわせたものになると行動が変わり、考え方も変わりました。人は置かれた環境によって変わることを、体験を通して感じることができました。渋沢翁のように何かを残せたわけではありませんが、そこでの経験は今、仕事でも私生活でもいろいろな人と接する時に生かされていると感じています。自ら求めて環境を変えたことでその後の人生も変わったと思っています。



間もなく夏休みになります。夏休みは普段できないことに挑戦するよい機会です。その挑戦を「習慣(環境)を変えて、行動を変える」として見てはどうでしょうか。いきなり日本を飛び出して異文化に触れることは難しいですから、まずは新しい習慣に挑戦してみる。例えば、犬の散歩をするときに、同じように犬の散歩をしている人10人にあいさつをする。中学生が参加できるボランティア活動に3つ参加する、図書館に行って新聞のコラム(朝日新聞「天声人語」読売新聞「編集手帳」毎日新聞「余録」)を視写して感想を書くなど。ポイントは「自ら(求めて)行動すること」です。修学旅行で3年生が挑戦した外国人観光客にインタビューする活動もこれに当たります。習慣が変わると行動が変わります。行動が変わると考え方や感じ方が変わります。今まで知らなかった、気付かなかったことに触れたとき、視野の広がりを感じたり、考え方の柔軟さが身に付いたりします。そこから新たな発見があり、その後の人生も変わる……かもしれません。

1学期のゴールが見えてきました。1学期を振り返り、成長できたところは自分を褒め、課題となっていることは残りの日々と夏休みに「習慣(環境)変えて、行動を変える」ことで改善できるよう努力を続けていきましょう。

保護者の皆様にはこれまで支えていただいたことに対して、あらためて感謝申し上げるとともに、これからも粘り強く努力する子ども達達の精神的な支えとして、応援していただくことをお願いいたします。